

田村病院ニュース



行日 平成 29 年 4 月 20 日
田村病院ニュース 第 123 号
発行責任者 木下定子
編集責任者 浦田雅弘

あっという間に桜の花のシーズンが終わってしまい、今はハナミズキの白やピンクの花が風に揺れています。この花が咲くともうすぐ大型連休。そう、ゴールデンウィークはもうすぐです。新社会人は4月の疲れをリフレッシュして下さい。

気持ちの良くなってきたこの季節、油断は禁物です。食中毒や熱中症など体調管理には十分に気をつけて下さい。

自 立 目 次

「じりつ」という言葉をよく耳にしますが、多くの方は「自立」を思い浮かべるのではないのでしょうか？

もう一方で「自律」という言葉があります。これは人間の良心の声、内なる声に従って言動を厳しくコントロールすることだそうで、「好き嫌い」や「したい、したくない」といった感情レベルではなく、その場の状況や周囲の影響を考えてなすべきことをしっかりと行うこととありますが、今月は庵尾看護部長より「自立」についてのお話がありました。

「自立」とは他からの支配や助力を受けずに存在することで、簡単にいえば自分の足で立つことです。そして組織人、専門職の自立とは“組織が何をしてくれる”のではなく“自分に何ができる”のかを考え、責任を転嫁することなく自己で責任を負う事を言います。具体的に言いますと①病院の理念や目標を理解し、その目標を達成する為に自分の置かれた立場や役割を自覚している人②自分の為に、病院の為に、患者さんの為に具体的な行動を起こしている人③問題を他人のせいとせず自分の行動に責任を持っている人、このような人を“自立している人”と考えられます。

厚労省が打ち出した“地域医療構想”といった事実上の病床削減を突きつけられる可能性があり、病院には組織強化であったり地域での必要性が求められ、田村病院もその例外ではありません。病院職員個々の成長が組織の強化となり、病院の成長へとつなが



ります。一人一人が自立した職員となれるように頑張っていきましょう。」といった内容のお話でした。

「自立」とはどういうことなのか少し調べていると東京大学先端研究所の専任講師でもある熊谷晋一郎氏の言葉にぶつかりました。「自立」と「依存」は反対語と勘違いされている方が多いと思いますが、熊谷氏は「自立とは依存である」と言います。人は、人や物など何かに依存していかなければ生きてはいけません。その依存先がたくさんあれば特定の依存先に強く依存することがなくなり、それに支配される自らを委ねる必要がなくなる。だから「自立は依存なのだ」より正確には「自立は依存の分散だ」というわけです。(NHK 視点・論点「自立について」より一部引用)

これについて皆さんはどう感じましたか？ 私は、自分自身が何に依存し、そして何を依存しているのか今一度見直すことが大切と思いました。

病院掲示板

4月といえば大手企業の入社式がニュースでも話題となっていました。当院でも新入職員が入社してくれました。特に事務所では4名の方が入職され、新しい風を運んで来てくれました。

しかし新社員の人にとっては慣れない職場、慣れない仕事で身も心も“へろへろ”になってきているのではないのでしょうか？もうひと踏ん張りでGW！

頑張ってくださいね。 みんな応援していますよー。



ちょっと気分転換

次の組み合わせの中で「食べ合わせがよいもの」はどれでしょう？

1. 紅茶とレモン
2. カレーとラッキョウ
3. 大根と人参
4. 納豆と生卵

掃除機のコードの黄色の目印の意味は？

1. もうすぐコードがなくなる
2. コードを伸ばして3Mのところ
3. 黄色のシール以降はコードを出してはいけない
4. 黄色のシールまでコードを出さなければいけない

正解は1面に 雑学クイズでした！

＝編集後記

これからしばらくの間は屋外でも気持ちのいい季節ですが、紫外線が強い時期でもあります。わたしは海によく出かけますが、この時期、釣りに行き日焼けをすると真っ黒になり、なかなか元には戻りません。私の経験からすると元に戻るのは翌年の3月ごろです。ですからわたしはずっと色が黒いのですねー。(ほんととは色が白いんです。足の裏とおしりが…！あっそうそう、腹も黒いですよー；笑)

＝うらた＝

